

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室・総務・施設管理部
大項目	9 教育研究等環境 (研究科) 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	9.0.1 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。【担当部局：学長室】	
要素	学生の学習および教員による教育研究環境整備に関する方針の明確化 校地・校舎・施設・設備に係る大学の計画	
小項目	9.0.2 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。	
要素	校地・校舎等の整備状況とキャンパス・アメニティの形成【担当部局：学長室】 校地・校舎・施設・設備の維持・管理、安全・衛生の確保【担当部局：施設部】	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 全キャンパスの整備充実計画を策定する委員会を設置し、統合的かつ継続的な整備を行う。	→各キャンパスの整備・充実計画の進捗状況	B	B	B	B	B
2. 情報機器の持込利用が可能スペースを増やし、ユビキタスな環境を拡大する。	→情報機器が利用できる建物の増減	C	C	C	C	C
3. 個人研究室の整備・充実を図り、研究の活性化を支援する。	→建物別の個人研究室平均面積	C	C	C	C	C
4. 学生・大学院学生・教員間の学習・研究、交流・親睦・発信の機能を持つ学生共同学習スペースを確保する。	→キャンパス別の学生共同学習スペースの設置数、総面積数、設備の充実度(物品販売などサービスの種類)	C	C	B	B	B
5. 環境側面とその影響を常に把握し、各キャンパスの省資源・省エネを行う。	→キャンパス別の電力消費量、光熱水費、CO2発生値	C	C	C	C	C
6. バリアフリーな施設・設備を充実する。	→障がい者用トイレ、点字ブロック、教室内ループなどの設置数	C	C	C	C	C

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2009年から実施されている新基本構想、新中期計画をもとに、重点施策を絞り込み、全体計画の構想・進捗管理を行なうとともに、各キャンパスの整備・充実が行われてきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か KSCアカデミックcommonsやNUCラーニングcommonsの建設などは、学生の積極的な学修を支援しており、利用頻度も非常に多い。一方で、2013年度内に計画が完了できずに、後期の新中期計画に継続しているものもある。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 計画の中で未完了、あるいは未実施の計画は、見直しの上で後期の新中期計画に引き継がれた。今後も新基本構想、新中期計画が全体計画の構想・進捗管理を行い、着実に計画を実行していく。</p> <p>その他</p>	☆
目標2	C	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教場を優先的に、情報機器使用のための無線LAN敷設工事を行い、また情報機器が利用可能なスペースの設置についても実施してきた。また、古い機器類の更新については中期的な計画に基づき、順次行ってきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 無線LAN工事については、教場についてはほぼ終了しており、情報機器の提供エリアを拡大すると同時に、持ち込み利用などの利便性も向上した。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 情報機器類の提供の需要は依然として多いため、他の予算との調整をしながら、計画的に増設することを検討する。</p> <p>その他</p>	☆
目標3	C	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2010年に第一教授研究館が新築され、24㎡の面積の確保はなされた。また個室の什器の老朽化には、財務部予算をもって、家具の入れ替え棟を行い、空調関係も経年を見ながら入れ替えの計画を立て、それに基づき更新工事を実施している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2010年度の新築以外は、教員の増員に対応した個人研究室の確保は依然として手付かずの状態であり、早晚個人研究室は飽和する状況にあることに変わりはない。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 予算化の優先順位の中に個人研究室の整備・充実を加えるかどうかの議論が必要。現実は含まれていない。</p> <p>その他</p>	☆
目標4	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 西宮上ヶ原キャンパスにラーニング・commons(H号館)が完成した。新中期計画の下で設置された「共同学習スペース活性化推進委員会」が運用方法を決定しオープンした。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 共同学習スペース活性化推進委員会が同スペースに管理人を置くことや、機材の貸出、開館時間を検討してオープンしたが、非常に利用頻度が高く好評であった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か さらに共同学習スペース活性化推進委員会において、同様のスペースの候補地を検討し、新たに空間とサービスの提供を行う。</p> <p>その他</p>	☆

<p>目標5</p>	<p>C</p>	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 建物の建築後の年数等を基準にして、中期的な計画を施設部を中心に立案し、建物の改修や設備の更新を行い、同時に省資源・省エネ化は自動水洗化、照明の自動感知化等を行うことで実施してきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 省エネ化を念頭に置きながら、更新工事を継続してきたので、学内の省エネ化は進んでいるが、予算の関係から学内全体の改善には時間がかかる。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、省エネ化を念頭に置きなが更新工事を継続するが、予算化については、本学の他の予算と調整しながら着実に予算化・執行していく。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
<p>目標6</p>	<p>C</p>	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 新しい建築を行う場合には、多目的トイレを設置したり、市条例に従いエレベーターを設置する等を実施している。また、実際に障がいを持った学生が入学する場合には、総合支援センターと連携して、その都度、必要な整備・改修を行ってきた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 障がいを持った学生には、個別で対応しているので、問題なく学生生活を送ることができている。また施設部では、設計段階で、各種設備にはユニバーサル化を含めて検討を行っている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 現在の方法を踏襲することが最善と考えるが、予算化については、本学の他の予算と調整しながら着実に予算化・執行していく。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
<p>備考</p>			<p>☆</p>